

第3回 貧乏脳に学ぶ

お金をいくら稼いでも、"お金を守る知識" がなければお金は湯水のように流れ落ちます。有名大学の研究と貧乏脳の考え方から学んでいきましょう。

幸福度は収入と比例しない

年収と幸福度の関係を調べた研究結果を紹介します。ハーバード大などで組まれたチームが行ったもので、信頼性があります。

結果は年収800万円を超えるくらいから幸福度が上がらなくなる、とのこと。800万以上の人は何に幸福を感じるようになっていくかというと、家族や友人との時間、休暇の過ごし方、健康に過ごすことなどだそうです。

これは年収1000万円以上の、いわゆる高所得であっても幸せになれるとは限らないことを示しています。

「高所得の人はブランドの服に高級腕時計、タワマン住まいに

高級外車でミシュラン星付きのレストランで食事...みたいなハデな生活で、リア充を絵にかいたような生活をインスタに上げてるじゃないか」
と思ったかもしれません。

欲しいものを自由に手に入れられるお金持ちの生活に憧れるのはわかります。

ただ、お金持ち = 高級品やぜいたく品にかこまれるハデな暮らし = 幸せ、と考えるのは違うんじゃないかと気づいてもらうことが今回の目的のひとつです。

上記のようなハデな暮らしは、年に億単位を稼ぐようないわゆる億万長者、大金持ちと呼ばれる本物のお金持ちの生活ではありません。

このレベルの人は上記のような生活は普通にできますが、わざわざ自慢したり見せびらかすことはダサいと考えてます。

つまりハデな生活をアピールしているのは年収 1000 万円くらい～3000 万円くらいの中の、いわゆる高収入貧乏タイプです。

承認欲求と自己顕示欲が強く、見栄にお金をつぎ込んで自滅するタイプです。

高収入貧乏についてと、その考え方にならないために気をつけるべきことは後ほど説明します。

幸せはお金で買えるか？

スタンフォード大の研究では、幸福の要因は先天的なものと後天的なものが半々で、後天的なものの 10%が物質的要因、40%は精神的要因といます。

高収入貧乏の人は物欲と見栄を満たすために幸福要因の 1 割だけに全振りしている = 幸せはほぼ全てお金で買えると思ってしまうわけです。

おまけに他人と比べたがり、負けないようにさらに高級なものを求め続けるので終わりはありません。大概はその間に支出（負債）が収入を上回って気づいた時には借金地獄に転落します。

物欲や見栄にとらわれてお金に振り回される考え方を貧乏脳と呼びます。

つまり高収入貧乏の考え方が、貧乏脳な考えです。

「はたしてハデな生活は本当にリア充か？幸せなのか？」

少しでも疑問が生まれたならあなたの考え方は良い方向にスライドし始めたと言えます。

本物の大金持ちは高級品だとかハデな生活にほぼ興味がありません。家族や友人と楽しく健康に暮らすことを大切にします。その方が幸福度が高いことを知ってるからです。

マイクロソフト創業者で世界一の大富豪であるビル・ゲイツは飛行機に乗るときエコノミーで移動するそうです。

なぜ世界一のお金持ちがエコノミーなのか？という問いに対して

「ファーストクラスでも到着する時間は一緒だから」と答えたそうです。

反面教師

高収入貧乏は欲に上限がありません。高収入でもそれ以上に欲が勝れば破滅に向かってゆきます。

物欲と見栄に全振りしているので収入が高くても手元に残らず、貯蓄や資産はほとんどありません。

しかも人は満足感を持続するために、より上のものを求めるようにできてます。欲は上限がないだけでなくエスカレートします。

そして一度上げた生活レベルはカンタンには下げられないことはよく知られてる事実です。

- ・ 他人と比べて自分の方が羽振りがいいことを誇示したい
- ・ 他人よりいい家に住んでいい車に乗っていい服を着ていいレストランで食事するのがステイタスで、いいお金の使い方
- ・ 他人より稼いでるんだからバンバン使っても大丈夫
- ・ 高額ローンでも収入が高いから組める、何でも買える

・大変な思いをして仕事で成果をあげてるから他人に誇れる収入なんだ。収入が低いやつは頑張ってる

高収入貧乏の考えをざっと箇条書きにしてみました、とてもいい人とは思えないことがわかると思います。

高収入貧乏になる人は嫌な奴だと言いたいわけではありません。高収入ですから優秀だと思いますむしろすごいことだと思います。ただお金を守る知識がないだけです。

反面教師にして欲しくてここまで説明してきました。

気をつけるべきことを以下に並べます。基本的に彼らと逆のことをしましょう。

- ・ 他人と比べることは無意味
- ・ 承認欲求と自己顕示欲が強い人は嫌われやすいタイプ
- ・ 自分の収入の範囲内で、無理がなく不足もない家を選んで、どうしても必要な場合以外は出費が大きいので車は持たない方向で、服は安くてもセンスと着回しでカバー、特別なとき以外

はレストランや外食より自炊を工夫して楽しむ、自分にプラスになって後に残ることにお金を使うのが正しくお金を活かす使い方

- ・ムダ遣いや衝動買いは愚かなこと = 浪費
- ・ローンは極力組まない、生活費が足りないなら転職か副業
- ・収入はこれから工夫して増やしながらか投資も検討して合わせ技で資産形成をし、余裕さえできればいい
- ・できるだけ家族や友人と楽しい時間を取るようにして健康に過ごす

こんな感じでしょうか。

前項で書いたように幸せは 1 割しかお金で買えません。かと言ってお金がないと残り 4 割に目を向けるどころではありません。

充分なお金を得るにはやらなければならないことはたくさんあります。しかしお金を守れるようになると、減りにくくなります。

増やせるようになったときに減りにくいなら増えるスピードは

速くなります。

貧乏脳にならないように気をつけて、お金を守りながら増やす術を身につけていきましょう。

今回は、

- ・物欲や見栄にとらわれてお金の振り回される貧乏脳にならない
- ・高収入貧乏の人たちを反面教師にしてお金を守る考え方を身につけていくとどうすればいいかわかりやすい

ということについてお伝えしてきました。

お金を

守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）
をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。

お金を守る知識は全ての土台になっていきます。

今回は、お金を守る知識の続編として羊の皮をかぶった狼、負債についてお伝えします。

森 ひろき